

Ⅱ. 2023年度活動報告

	2023年度活動計画	活動状況
自主防災組織全体	① 平常時における防災知識の普及・啓発・広報につとめ、防火・消火技術講習会、救急救命講習会、防災訓練、防災住民意見交換会を開催して災害時に備える	各作業部会で対応した。
	② 9月と3月に防災の日と防災週間を設定し、災害の記憶を新たにして、各家庭の備蓄品等の確認を行って自助に備えていただく。飲料水確保のためのペットボトル水の購入斡旋を行う	8/30～9/5、および3/10～3/16まで2回防災週間を実施。防災だより、防災メール、掲示板で周知した。 飲料水の斡旋は3月のみ実施した。
	③ 非常時のための災害用井戸を自治会と協力して整備を行う。	6/7、懸案であった災害用井戸を、中央公園周回歩道南側脇に整備を完了した。
	④ 専門学校に災害時の水の提供をお願いする。	専門学校からの水の提供をお願いすることはやめる。
	⑤ 市の自主防災活動支援補助金を利用して防災備品の整備を充実させる。	ガス発電機、ポータブル電源、車椅子、投光器等、不足している備品6点を購入した。市から補助金の22.8万円が支給された。
	⑥ 自主防災組織規約と防災計画の見直しを行う	2023年度自主防総会に改定案を提出。
	⑦ 防災役員会を2ヶ月に1回開催し、防災会議を年2回開催する。	防災役員会は4,6,8,10,12,2月の6回開催。防災会議は10,1月の2回開催した。
	⑧ 長期保存がきく食料品の備蓄について検討チームを立ち上げる。	長期保存食備蓄検討チームを立ち上げ検討を開始した。来年度から備蓄を実践に移す。
ひなん支援部会	① 災害時ひなん支援希望者調査を実施(5月予定)し、災害時に備える。 ・支援希望者リストを更新し、必要に応じてサポーターを決める。 ・安否確認で使用する名簿と地図を作成し、厳重に管理する。 ・支援希望者宅の訪問を年3回実施する。	対応を完了した。支援希望者は52世帯65名班長へ通知し承40世帯。(5/1現在) 5/1から個人調査を開始し、支援希望者リストおよびサポーターを決定した。 名簿・地図ともに作成した。 つくば市社会福祉課のデータと照合した。 6/18、10/15、2/1の年3回1週間程度で実施。
	② 消火・防火の知識と技術を身につける講習会を開催する。	6/17「火災から命を守る」講習会を開催。一般参加者12、防災員29。一般参加の増員が課題。桜タイムスにコラム「火災から命を守る」シリーズを作成して掲載。
	③ 防災訓練で安否確認を担当する。	班長さんに安否確認表を配布。災害対策本部に受付、案内、記録班を編成して班長さんからの安否確認報告をまとめた。 安否確認世帯数468世帯/527世帯 88.8% 安否確認支援希望者54人で4名が不明。
情報部会	① 自主防災活動の広報 ・防災だよりを発行して各種催し物の案内や報告、防災に役立つ情報を紹介する。	防災だよりを53号/6月、54号/8月、55号/10月、56号、57号/11月、58号/3月の全6回発行した。
	・掲示板の有効活用を図り、各種案内・情報が全住民に伝わるようにする。	火災から命を守る講習会、防災週間、消防訓練、災害用井戸工事のお知らせ、防災研究機関紹介、防災会議、役員立候補者募集等のポスターを掲示した。

	2023年度活動計画	活動状況
情報部会	・ホームページによる訓練や講習会のお知らせ、防災だよりの掲載、自主防役員会の議事録など随時更新を行い、自主防災組織の活動状況が分かるようにする。	年間予定表、総会資料、防災会議議事録、役員会議議事録等の更新を行った。防災だより、催し物の案内を掲載した。
	・災害時には掲示板、ホームページ、防災メール、広報車を使用して情報を提供する。	災害時に対応する。訓練時には防災メール発信と広報車で情報を発信した。
	② 防災メール ・防災メールの登録者数の拡大を目指し、異常気象が予想される場合や周辺での災害発生状況、さらには防災メールを利用して県警等からの防犯情報など、注意喚起の発信を行う。	6/11に防災メール登録お願いのチラシを配布。防災メール発信数 37、その内防犯関係以外の注意喚起メール発信 5
	・防災訓練の際に、地震発生の防災メールを発信する。 家族で2名以上防災メール登録者がいる場合、家族お一人からの返信ではなく、登録者全員からの返信を求めるようにして、メール登録者との通信確認の機会とする。	防災メールが確実に登録者に送信されているかについても同時に確認を試みたが、登録者全員からの返信が得られなかった。 安否確認の返信数は119件(昨年度は144件、一昨年度は154件)にとどまり、3年連続して返信数が低下している。 また今回、メールの返信先に不具合が発生したことが判明した。
	・安否確認数が減り続けていることから、増加を図る検討を行う。	LINEを活用できるか検討中。
	③ 防災について考える会 ・住民意見交換会を、楽しみながら学んだり考える会として開催する。	12/2に開催した。参加人数は21名。 災害時に向けた食料備蓄について話し合った。カップ麺や調理済みアルファ米を水で戻して試食したが、十分食べられることが分かった。
訓練部会	① 防災訓練 ・災害対策用資機材を点検し、取扱いの説明と使用体験を実施する。	11/18に実施した。参加人数は総勢112名。 ・資機材の点検と、取扱いの説明をした。 ・消火栓ホースの届く範囲を図で説明した。 ・荻崎の宝陽台団地に自主防が発足し、3月に防災訓練の予定があり、10名ほど見学者がありました。
	・救出救護、給水、避難所運営訓練などの訓練を選択・実施する。	担架と車椅子を使った負傷者の搬送訓練とホースを接続する取扱い訓練を実施した。ホースの接続金具が固くなっていることが分かった。
	・防災研究機関の公開日の紹介を行う。	豪雨体験の公開日をポスターで案内した。
	② 未実施の消火栓で消火訓練を実施する。	9/21に保安部と協同で開催。自主防は防火水槽の水を使用して放水訓練を実施した。
	③ 救急救命講習会の開催	10/21に開催。参加者は18名と少なかった。
④ 防災倉庫収納品の管理者確認と処分方針の相談・決定。	倉庫内にある自主防管理品以外の管理者の確認と、処分可能品の選定をお願いした。	